



地域の新たなスポーツの拠点

# 能登川アリーナ オープン

メインアリーナ  
1,470㎡ (42m×35m)  
観覧席250席(車椅子席含む。)  
バレーボール2面、バスケットボール2面  
バドミントン8面

## ■3つの基本コンセプト

- 1 市民が気軽に多様な屋内スポーツにチャレンジし、競技力向上を図れる施設
- 2 さまざまな世代の健康増進、健康寿命延伸につながる生涯スポーツが楽しめる施設
- 3 人に優しく災害に強いユニバーサルデザインの施設

### <施設概要>

- 名称 東近江市能登川アリーナ
- 所在地 山路町2225番地
- 構造 RC造平屋建て
- 延べ床面積 3,181.91㎡
- アリーナ面積 1,918.234㎡
- 総工費 約12.7億円
- その他の施設内容  
多目的室、トレーニング室、更衣室、シャワー室、会議室、研修室、談話室、事務室、トイレ(多目的トイレを含む。)、器具庫、放送室、観覧席(約250席)、災害トイレ用マンホール ほか

**①空調設備**  
メインアリーナには、地下水を活用する輻射空調方式を県内



建物に合わせてデザインされた空調設備の本体パネル



【フロア材】  
主要国際大会で採用実績のあるスポーツ施設のフロア材としても使われている。

能登川アリーナは、JR能登川駅から徒歩15分と利便性もよく、県や近畿レベルの大会の開催やプロスポーツの観戦が可能な施設として生まれ変わりました。今後は、地域のスポーツ振興の拠点として、子どもから高齢者まで幅広い世代の皆さんから親しまれ、オリンピックやプロスポーツの世界で活躍する人材を輩出する施設を目指します。

スポーツ施設で初めて採用しました。  
これは、建物に合わせてデザインされた本体パネルの中に地下水を循環させ、アリーナ内の温度を調節するものです。通常の空調の場合、建物全体の温度調節を行うため、コストや時間

がかかりますが、この空調は、室内を快適な活動空間と上部暖気の2層に分けることで、活動する高さの範囲をゆつくりと空気が流れ、快適な空間を作り出す人に優しいシステムとなっています。

**②フロア材の材質**  
メインアリーナとトレーニング室のフロア材は、滑りにくく、

クッション性があることに加え、手軽なメンテナンス、表面強度や保温性・吸音性に優れた床材を採用しました。

**③多目的室・トレーニング室**  
旧体育館に併設していた武道館に替わる施設として、多目的室を設置しました。武道はもちろん、ダンスやヨガ、体操教室のほか、さまざまな競技で利用できます。

また、新しくトレーニング室を設置しました。機器は、酸素トレーニングやウエイトトレーニングなどが可能なものを揃えています。健康増進や体力向上にご利用ください。

**④ユニバーサルデザインと防災対策**  
多目的トイレや車椅子で観覧可能なスペース、車椅子でも利用できるシャワールームを導入



車椅子で観覧できるスペースを確保



多目的室



会議室



県内初となる地下水を利用した空調設備



トレーニング室



研修室



アリーナ観覧席



上空から



外観

10月1日オープン

能登川スポーツセンター体育館に替わる地域の新たなスポーツの拠点として「東近江市能登川アリーナ」(以下、能登川アリーナ)が完成しました。  
昭和53年に建設され、昭和56年のびわこ国体のボクシング会場として利用された旧体育館は、築40年が経過しており、老朽化が著しく、改修が望まれていました。  
平成29年から準備を進め、能登川図書館の東側へ移転新築したものです。

TOPICS  
ピックアップ

滋賀県で、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催予定！

湖国の感動 未来へつなぐ  
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025年（令和7年）に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が滋賀県で開催される予定です。皆さんには、国民体育大会（いわゆる「国体」）という名称に馴染みがあると思いますが、2024年に佐賀県で開催される大会から、この「国体」という名称が「国民スポーツ大会」に変わります。

本市では、軟式野球、サッカー、ソフトボール、ゴルフ、カヌー、そして、この能登川アリーナで開催されるボクシングの計6種目が競技会場として内定しています。また、障害者スポーツ大会では、グラウンドソフトボールが開催される予定です。

2025年  
滋賀県で開催！



東近江の  
スポーツ選手に  
インタビュー

小梶 孝行 選手（中野町）

カヌースプリント競技（カナディアン種目）



カヌースプリント競技（カナディアン）は、細長い船体に片膝をつけ、片側のブレードしかないパドルで漕ぎ、タイムを競う種目。

小梶さんは、地元企業に勤務しながら活動しています。鍛え上げられた体からは力強さが伝わってきます。「年齢的にきつくなっていく時期ですが、長年の経験や技術でカバーし、目標に向けて仕上げていくことが大事。5年後の地元開催は貴重なチャンス。自分（地元選手）の活躍で地域を盛り上げたいと思っています。次世代の選手を育成する使命もあるので、目標とってもらえるようなレースをしたい」と意気込みを語りました。

県立能登川高等学校

ボクシング部



これまで優秀な成績をあげた選手を数多く輩出している能登川高等学校のボクシング部。現在男女7人の部員が日々練習に汗を流しています。県内では当校しかボクシング部がないため、他校の高校生のほか小中学生も練習に参加しています。

主将の中澤来希さん（2年）は、「拳ひとつで戦えることが魅力。練習は厳しいですが、みんなで毎日目標を決めて取り組んでいます。滋賀県で開催される国民スポーツ大会の出場を目指して頑張りたい」と強い気持ちを見せました。



笑顔で指導する江里口さん

午後からは、能登川地区スポーツ協会が地元の子どもたちを対象に、ロンドン五輪の陸上リレーに出場した江里口匡史さんによるスポーツ教室を開かれました。

スポーツ教室



同日開催のアリーナの内覧会にも、市内外から約400人が訪れ、竣工を盛大に祝いました。

内覧会



指定管理者基本協定の締結式（7月9日）  
＜左から＞(株)スポーツショップキムラの木村代表、小椋市長、(株)エスエスケイの佐々木代表

指定管理者制度を導入した。全館バリアフリー設計で、誰もが使いやすい施設となっています。  
また、駐車場には、災害時にトイレとして使用できるマンホールを設置しています。



災害時にマンホールをトイレとして使用した一例（し尿は、地中の管を通り、下流の下水道へ流れる仕組み）

「市民とともにスポーツの持つ力を共有し、魅力と可能性に満ちあふれた施設を目指す」という運営方針で、「貸館をはじめ、各種スクールも充実することになります。」

■利用料金

施設	利用料金	備考
アリーナ（2面）	1面1時間 1,000円	1面とは、バスケットコート1面
多目的室	1時間 600円	
トレーニング室	1人1回（2時間以内） ※中学生以下は、使用不可	市内在住 400円 回数券（11回）
		市外在住 600円 回数券（11回）
会議室	1時間 200円	
研修室	1時間 200円	
附属設備	放送設備 1式	2,000円
	温水シャワー	1人 100円 1団体 1,000円

■利用時間 午前9時～午後10時

■休館日 毎週月曜日、休日の翌日、年末年始（12月28日～翌年1月3日）

「市民とともにスポーツの持つ力を共有し、魅力と可能性に満ちあふれた施設を目指す」という運営方針で、「貸館をはじめ、各種スクールも充実することになります。」

問 国スポ・障スポ推進課  
IP 050・5801・5675  
0748・24・5675  
FAX

SPキムラSSKグループの「能登川アリーナスクール」は、下記QRコードからご覧ください。



オープニングセレモニー

9月26日（土）、竣工式にあわせてオープニングセレモニーを行いました。

セレモニーでは、ダンススタジオ「シンク」の選抜メンバーによるストリートダンスショーが披露されたほか、滋賀県出身のボクシング元世界チャンピオンの山中慎介さんと陸上で北京五輪銀メダリストの末續慎吾さんが登場し、小椋市長と小寺裕雄衆議院議員を交えて「東近江から世界へ羽ばたくアスリート」をテーマに、スポーツ対談が行われました。



山中慎介さん

末續慎吾さん